

# I 耕地面積及び耕地の拡張・かい廃面積

## 1 耕地面積（田畠計）

- (1) 令和6年7月15日現在の全国の耕地面積（田畠計）は427万2,000ha（前年に比べ2万5,000ha（0.6%）減少）となった。これは、荒廃農地からの再生等による増加があったものの、耕地の荒廃、転用等による減少があったためである。
- 全国農業地域別にみると、前年に比べ東北は4,200ha（0.5%）、九州は3,900ha（0.8%）、関東・東山は3,800ha（0.6%）減少した（表1）。
- (2) 耕地率は11.5%で、全国農業地域別にみると沖縄が15.7%で最も高く、次いで北海道の14.5%、関東・東山の13.6%の順となっている（表1）。
- (3) 水田率は54.3%で、全国農業地域別にみると北陸が89.6%で最も高く、次いで中国の77.9%、近畿の77.8%の順となっている（表1）。

表1 令和6年田畠別耕地面積（全国農業地域別）

全農業地域	田畠計			田			畠			耕地率	水田率		
	面積	前年との比較		面積	前年との比較		面積	前年との比較					
		対差	対比		対差	対比		対差	対比				
全 国	4,272,000	△ 25,000	99.4	2,319,000	△ 16,000	99.3	1,952,000	△ 10,000	99.5	11.5	54.3		
北 海 道	1,138,000	△ 3,000	99.7	220,700	△ 800	99.6	917,300	△ 1,800	99.8	14.5	19.4		
都 府 県	3,134,000	△ 22,000	99.3	2,099,000	△ 14,000	99.3	1,035,000	△ 8,000	99.2	10.6	67.0		
東 北	809,600	△ 4,200	99.5	583,100	△ 3,700	99.4	226,500	△ 500	99.8	12.1	72.0		
北 陸	302,800	△ 1,900	99.4	271,200	△ 1,600	99.4	31,600	△ 300	99.1	12.0	89.6		
関 東・東 山	684,900	△ 3,800	99.4	384,500	△ 2,000	99.5	300,500	△ 1,700	99.4	13.6	56.1		
東 海	239,900	△ 2,800	98.8	145,700	△ 1,300	99.1	94,200	△ 1,500	98.4	8.2	60.7		
近 畿	211,200	△ 2,200	99.0	164,300	△ 1,700	99.0	46,900	△ 500	98.9	7.7	77.8		
中 国	222,900	△ 2,000	99.1	173,600	△ 1,400	99.2	49,400	△ 500	99.0	7.0	77.9		
四 国	123,900	△ 1,900	98.5	81,600	△ 1,200	98.6	42,300	△ 700	98.4	6.6	65.9		
九 州	502,400	△ 3,900	99.2	293,900	△ 1,900	99.4	208,500	△ 2,000	99.0	11.9	58.5		
沖 縄	35,900	△ 200	99.4	751	0	100.0	35,200	△ 200	99.4	15.7	2.1		

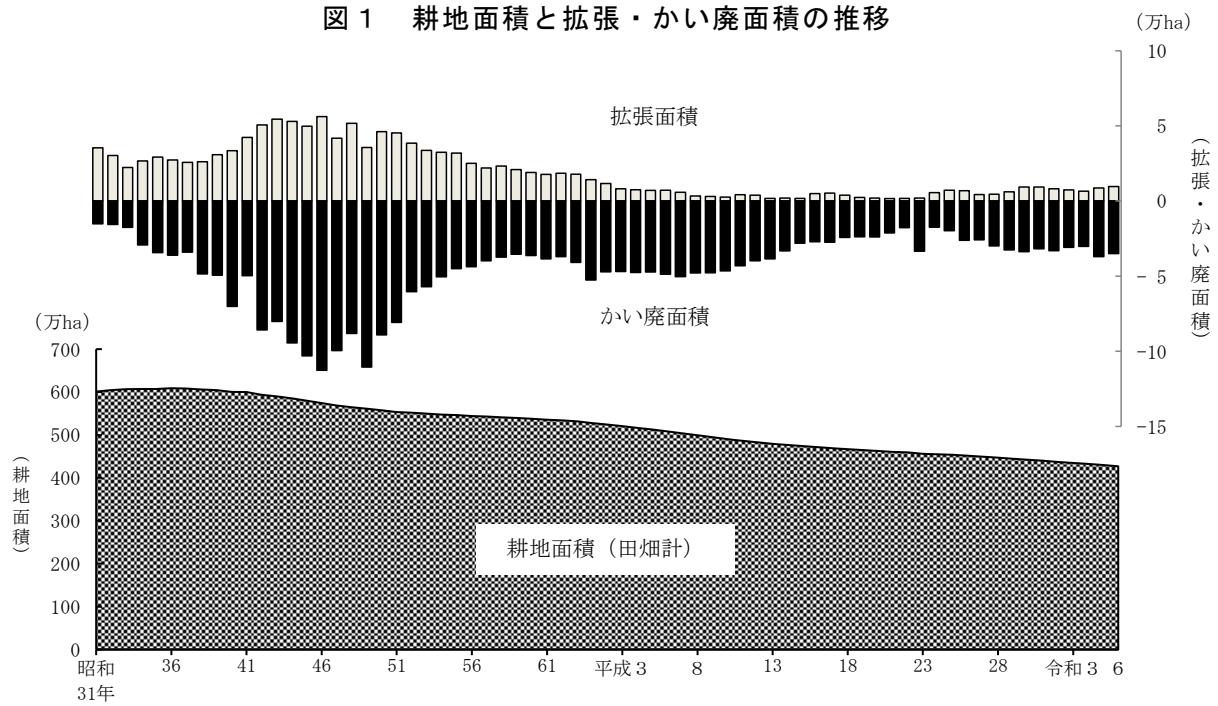
注：1 「耕地率」とは、国土面積のうち、耕地面積（田畠計）が占める割合（%）である。なお、この国土面積は、国土交通省国土地理院『令和6年全国都道府県市町別面積調（7月1日時点）』による。

2 「水田率」とは、耕地面積（田畠計）のうち、田が占める割合（%）である。

- (4) 耕地面積の動向をみると、昭和30年代初めは増加傾向で推移したが、昭和36年の608万6,000haを最高にその後年々減少し、昭和41年には599万6,000haと600万haを下回った。その後も高度経済成長のもと、宅地等への転用が大幅に増加したこと等から減少幅が大きくなつたが、昭和50年代に入ると、耕地面積の減少は昭和40年代に比べて緩やかになつた。

平成元年以降は、増加要因である開墾等の減少に加え、減少要因である宅地等への転用や荒廃農地になったこと等によるかい廃が継続的に発生しているために減少幅が大きくなり、平成8年には499万4,000haと500万haを下回つた。その後も、耕地面積は減少を続け、令和6年は427万2,000haで、過去最高であった昭和36年の70.2%となってい（図1）。

図1 耕地面積と拡張・かい廃面積の推移



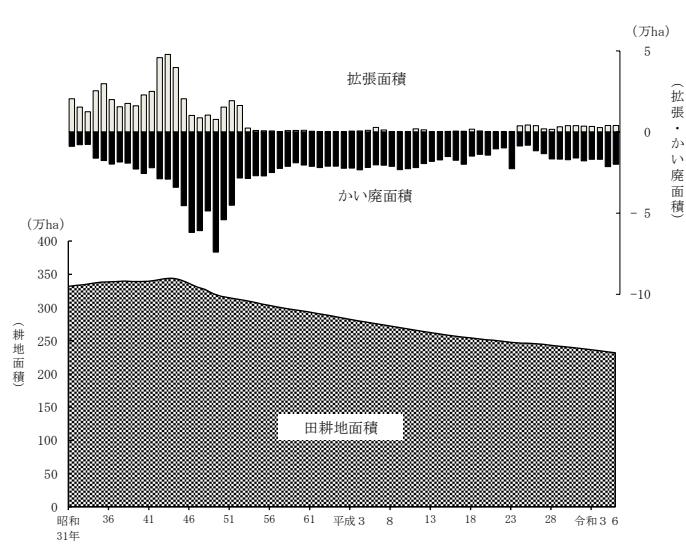
## 2 田耕地面積

- (1) 令和6年7月15日現在の田耕地面積は231万9,000ha（前年に比べ1万6,000ha（0.7%）減少）となった。全国農業地域別にみると、前年に比べ東北は3,700ha（0.6%）、関東・東山は2,000ha（0.5%）、九州は1,900ha（0.6%）減少した（表1）。
- (2) 田の拡張・かい廃面積をみると、拡張面積は4,060ha、かい廃面積は1万9,800haであった（表2）。

表2 令和6年田の拡張・かい廃面積  
(全国農業地域別)

全農業地域	田			単位:ha
	拡張 (増加要因)	かい廃 (減少要因)	荒廃農地	
全 国	4,060	19,800	6,430	
(対前年差)	△ 50	△ 1,500	△ 530	
北 海 道	103	902	20	
都 府 県	3,960	18,900	6,410	
東 北	979	4,730	1,110	
北 陸	72	1,680	138	
関 東・東 山	602	2,680	1,240	
東 海	185	1,500	514	
近 畿	291	1,970	683	
中 国	605	2,070	1,110	
四 国	221	1,390	339	
九 州	983	2,830	1,260	
沖 縄	20	20	20	

図2 田耕地面積と拡張・かい廃面積の推移



(3) 田耕地面積の動向をみると、昭和 40 年代前半まで増加傾向であったが、昭和 44 年の 344 万 1,000ha を最高にその後減少傾向で推移し、令和 6 年は 231 万 9,000ha となり、過去最高であった昭和 44 年の 67.4% となっている。これは、米の生産調整の実施により開墾の抑制や畠への転換が進んだことに加え、宅地等への転用、田の荒廃等のかい廃が継続的に発生しているためである（図 2）。

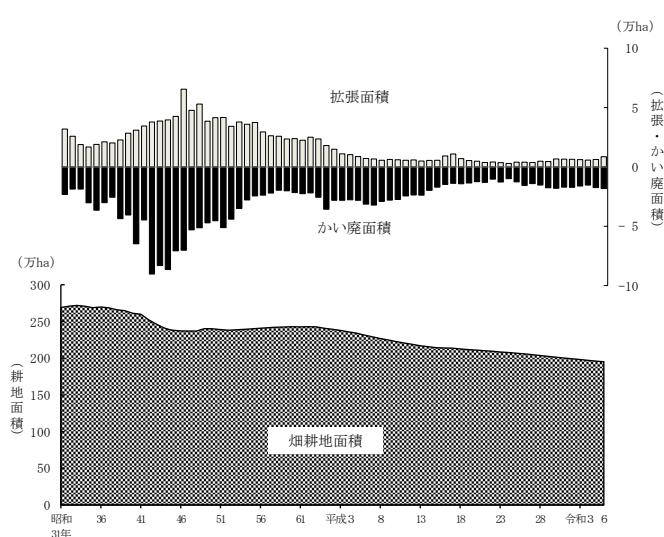
### 3 畑耕地面積

- (1) 令和 6 年 7 月 15 日現在の畑耕地面積は 195 万 2,000ha（前年に比べ 1 万 ha (0.5%) 減少）となった。全国農業地域別にみると、前年に比べ九州は 2,000ha (1.0%)、北海道は 1,800ha (0.2%)、関東・東山は 1,700ha (0.6%) 減少した（表 1）。
- (2) 畑の拡張・かい廃面積をみると、拡張面積は 8,460ha、かい廃面積は 1 万 8,200ha であった（表 3）。

表 3 令和 6 年畑の拡張・かい廃面積  
(全国農業地域別)

全農業地域	畑			単位 : ha
	拡張 (増加要因)	かい廃 (減少要因)	荒廃農地	
			畑	
全 国	8,460	18,200	7,490	
(対前年差)	2,270	800	30	
北 海 道	727	2,540	41	
都 府 県	7,730	15,600	7,450	
東 北	2,760	3,220	985	
北 陸	139	404	30	
関 東 ・ 東 山	1,710	3,440	1,710	
東 海	247	1,750	1,110	
近 謩	260	774	367	
中 国	577	1,090	695	
四 国	286	963	391	
九 州	1,540	3,560	1,790	
沖 縄	219	426	366	

図 3 畑耕地面積と拡張・かい廃面積の推移



- (3) 畑耕地面積の動向をみると、昭和 33 年の 271 万 9,000ha を最高に、昭和 34 年以降は減少傾向で推移し、昭和 40 年代前半は田への転換に加え、宅地等への転用、植林等のかい廃により減少幅が大きくなり、昭和 45 年には 240 万 ha を下回った。その後、昭和 53 年から昭和 62 年にかけて開墾等による拡張や田への転換の抑制等により増加傾向で推移し、昭和 62 年に 243 万 ha となった。しかし、昭和 63 年以降は開墾等による拡張が大幅に減少したことに加え、かい廃は継続的に発生しているため再び減少傾向となり、令和 6 年は 195 万 2,000ha で、過去最高であった昭和 33 年の 71.8% となっている（図 3）。

(4) 畑耕地面積を種類別にみると、普通畑は 111 万 8,000ha（前年に比べ 2,000ha (0.2%) 減少）、樹園地は 24 万 8,600ha（同 4,900ha (1.9%) 減少）、牧草地は 58 万 5,900ha（同 3,100ha (0.5%) 減少）となった。

畑種類別の面積割合は、普通畑が 57.3%、樹園地が 12.7%、牧草地が 30.0%となっている（表 4）。

表 4 令和 6 年畑種類別面積（全国農業地域別）

全農業地域	計			普通畑			樹園地			牧草地		
	面積	前年との比較		面積	前年との比較		面積	前年との比較		面積	前年との比較	
		対差	対比		対差	対比		対差	対比		対差	対比
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%
全 国	1,952,000	△ 10,000	99.5	1,118,000	△ 2,000	99.8	248,600	△ 4,900	98.1	585,900	△ 3,100	99.5
(構成比 %)	100.0	-	-	57.3	-	-	12.7	-	-	30.0	-	-
北 海 道	917,300	△ 1,800	99.8	417,800	△ 200	100.0	3,030	△ 20	99.3	496,400	△ 1,700	99.7
都 府 県	1,035,000	△ 8,000	99.2	700,000	△ 1,700	99.8	245,600	△ 4,800	98.1	89,500	△ 1,400	98.5
東 北	226,500	△ 500	99.8	127,700	1,000	100.8	43,400	△ 1,100	97.5	55,400	△ 400	99.3
北 陸	31,600	△ 300	99.1	25,300	△ 100	99.6	4,640	△ 110	97.7	1,660	△ 30	98.2
関 東・東 山	300,500	△ 1,700	99.4	248,900	△ 800	99.7	43,300	△ 700	98.4	8,310	△ 130	98.5
東 海	94,200	△ 1,500	98.4	56,800	△ 500	99.1	34,800	△ 1,000	97.2	2,630	△ 30	98.9
近 畿	46,900	△ 500	98.9	17,100	0	100.0	29,400	△ 500	98.3	468	△ 2	99.6
中 国	49,400	△ 500	99.0	33,400	△ 400	98.8	13,100	△ 100	99.2	2,890	0	100.0
四 国	42,300	△ 700	98.4	15,200	△ 200	98.7	26,700	△ 500	98.2	492	0	100.0
九 州	208,500	△ 2,000	99.0	148,400	△ 400	99.7	48,300	△ 1,000	98.0	11,800	△ 700	94.4
沖 縄	35,200	△ 200	99.4	27,300	△ 200	99.3	1,940	60	103.2	5,890	△ 110	98.2